

大谷祖廟  
暁天講座

人生の物語  
—むすぶ、つながる—

サガエさん  
佐賀枝夏文

はじめに

「人生に学ぶこと」という言葉をいただいて

1 人生の物語

人生のタイトル・テーマ

人生のテーマ曲

人生と「起承転結」

起の巻：無心で無為な子ども時代

承の巻：有心で有為なおとなの時代へ

転の巻：有量を生き、転換・転じる時代

結の巻：人生を「ふり返る」時代

2 先輩の転換・転じた世界

中村久子さんの悲しみと苦しみの転換

ある船乗りさんの「たとえ話」から

「べてるの家」のメッセージ「治りませんように」

3 樹木に学ぶ

バウムテストとの出会い

仏教三聖木

無憂樹

菩提樹

沙羅樹

さまた  
碍げ、樹木たちの教え

石を抱えた樹木

崖に生えた樹木

戦災樹木、被ばく樹木

4 ふり返りの時代

むすぶ、つながる  
心理学者ユングの治療理論  
布置された星が線で結ばれ、つながり星座となる物語  
彩の季節、錦秋の季節

5 むすばれ、つながる  
大いなる「はたらき」  
禱げが「転じ」て無碍となる

6 出会った言葉

金子みすずさんが「悲しみの闇」で見つけた世界  
星とたんぽぽ

青いお空の底ふかく、	散ってすがれたたんぽぽの、
海の小石のそのように、	瓦のすきに、だアまって、
夜がくるまで沈んでる、	春のくるまでかくれてる、
昼のお星は眼にはみえぬ。	つよいその根は眼にみえぬ、
見えぬけどもあるんだよ、	見えぬものでもあるんだよ、
見えぬけどもあるんだよ。	見えぬものでもあるんだよ。

出典：金子みすず『金子みすず童謡集』ハルキ文庫 角川春樹事務所 1998年

親鸞聖人の『教行信証』にあります。

悪を転じて徳を成す

『教行信証』（真宗聖典 第二版 159頁）

しょうしゆく ふち  
星宿を布置す

『教行信証』（真宗聖典 第二版 436頁）

中村久子さんの『こころの手足』の言葉「善知識」  
善知識

仏道に導いた先生

親鸞聖人の説かれた世界（大いなる「はたらき」は・・・）

こおりとみずのごとくにて  
こおりおおきにみずおとし  
さわりおおきに徳おとし

『高僧和讃』（真宗聖典 第二版 594頁）